

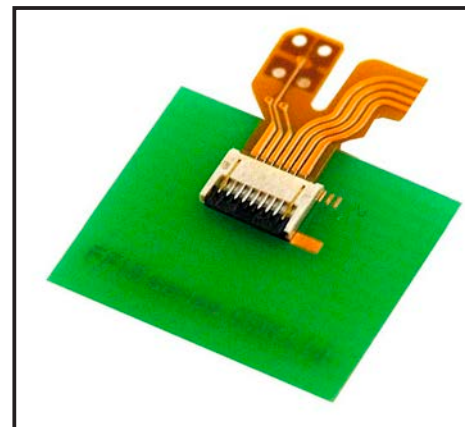
0.4 mm ピッチ超低背 FPC 用コネクタ【上接点タイプ】

FF18 Series



概 要

FF18 シリーズは、0.4mm ピッチ、0.12mm 厚の FPC に適合したコネクタで、ケーブルロック機構を備えています。
コネクタ高さは 0.66mm (0.70mmMax) と超低背で、基板占有面積も業界最小クラスの上接点専用コネクタです。



特 長

- ◆弊社独自のカム式バックロック採用により、確実な作業が行えます。
- ◆弊社独自のケーブルロック機構を採用し、FPC 保持力不足を解消いたします。FPC を上方向に引張り上げても、ロックが開きません。
- ◆ ロック解除状態で納入の為、作業前にレバーを開く必要がありません。
- ◆自動実装に対応したエンボステーピング供給です。
- ◆耐熱性樹脂を採用し、リフローはんだ付けに対応しています

注意 ※ FPC を挿入しない状態でロックレバーを閉じないで下さい。

※ FPC をコネクタに嵌合すると、ケーブルロックタブは両端の端子と導通します。
ケーブルロックタブをグラウンドに落とさないで下さい。

用 途

携帯電話、ノート PC、PDA、小型モバイル機器

仕 様

定格電圧	AC 50V (r.m.s.)
定格電流	0.4A / コンタクト
耐電圧	AC 200V(r.m.s.) / 1 分間
絶縁抵抗	DC 500V で 100 MΩ 以上
接触抵抗	50m Ω 以下

材 質 / 表面処理



部 品 名	材質/表面処理
コンタクト	銅合金 / Ni 下地 Au フラッシュめっき
ハウジング	LCP 樹脂 (UL94V-0) / アイボリー
ロックレバー	PPS 樹脂 (UL94V-0) / 黒色

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

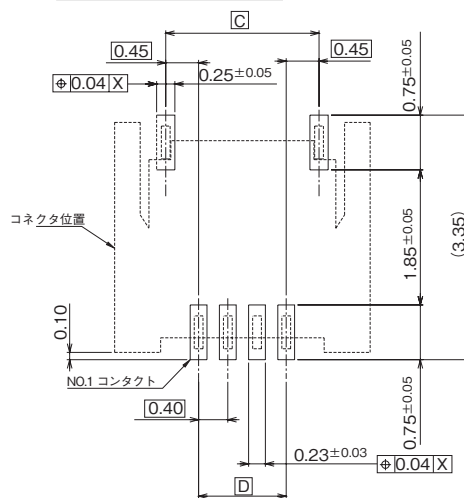
また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

FF18- A-R11A-3J

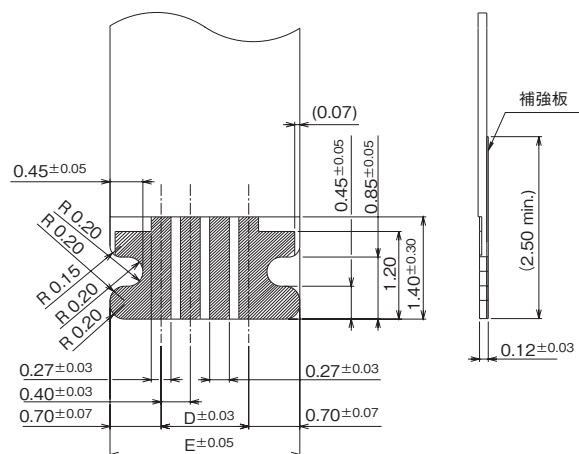
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

①シリーズ名	FF18
②芯 数	表－1 参照
③接点形状	A：上接点、適合 FPC 厚：0.12±0.03mm
④コンタクトスタイル	R：ライトアングル
⑤コンタクトピッチ	1：0.40mm
⑥コンタクト表面処理	1：Ni 下地 /Au（フラッシュ）めっき
⑦スライダー形状	A：標準タイプ
⑧材 料	3J：ハロゲンフリー、PFAS フリー

◆推獎基板寸法



◆推奨 FPC 寸法



品 名	芯 数	A	B	C	D	E
FF18- 4A-R11A-3J	4	3.50	2.70	2.10	1.20	2.60
FF18- 5A-R11A-3J	5	3.90	3.10	2.50	1.60	3.00
FF18- 6A-R11A-3J	6	4.30	3.50	2.90	2.00	3.40
FF18- 7A-R11A-3J	7	4.70	3.90	3.30	2.40	3.80
FF18- 8A-R11A-3J	8	5.10	4.30	3.70	2.80	4.20
FF18- 9A-R11A-3J	9	5.50	4.70	4.10	3.20	4.60
FF18- 10A-R11A-3J	10	5.90	5.10	4.50	3.60	5.00

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

■リール状態寸法図



品 名	芯 数	A
FF18- 4A-R11A-3J	4	3.80
FF18- 5A-R11A-3J	5	4.20
FF18- 6A-R11A-3J	6	4.60
FF18- 7A-R11A-3J	7	5.00
FF18- 8A-R11A-3J	8	5.40
FF18- 9A-R11A-3J	9	5.80
FF18- 10A-R11A-3J	10	6.20

<https://www.connector.fujikura.com>

コネクタ操作方法と注意点

1. コネクタ実装状態

ロックレバー開放状態で納入となりますので、FPC を挿入する前に、ロックを操作する必要はありません。

(写真①参照)

ロックを閉じた状態でリフロー実装をしないで下さい。

FPC 未挿入状態でロックレバーを閉じないでください。

FPC 未挿入状態でロックレバーを閉じると、接点間ギャップが狭くなり、FPC 挿入力が上昇します。(写真②参照)

ロックレバー真上から、荷重 (0.5N×pin 以上) をかけないで下さい。

(図①参照)

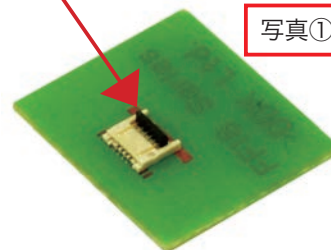
又、反ロック方向に荷重 (0.5N×pin 以上) をかけないで下さい。

(図②参照)

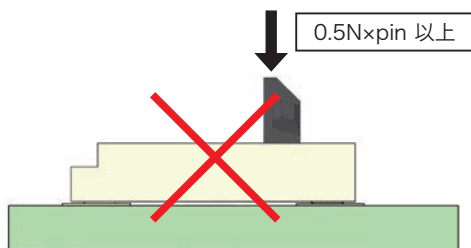
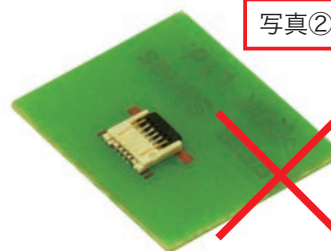
ロック破損、もしくは端子変形の原因となります。

納入時、ロックレバーは解放状態です

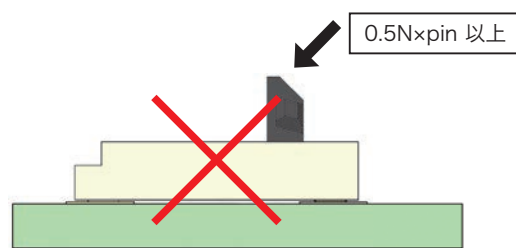
写真①



写真②



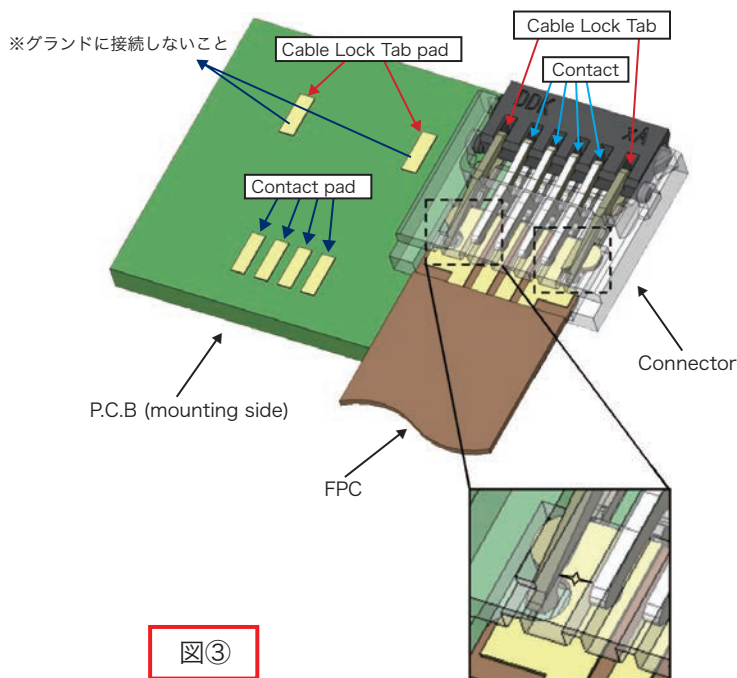
図①



図②

FPC をコネクタに嵌合すると、ケーブルロックタブは両端の端子と導通します。

実装基板側のケーブルロックタブパッドをグラウンドに落とさないでください。(図③参照)



図③

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

コネクタ操作方法と注意点

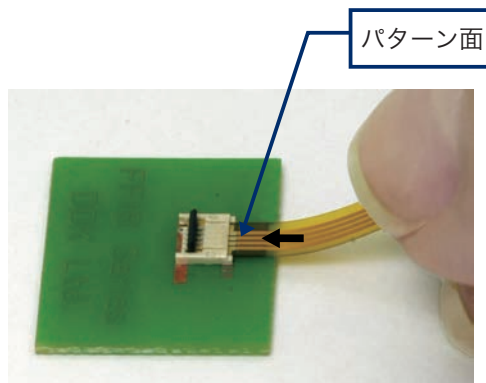
2. FPC 挿入方法

FPC 導体面を写真③の方向にして、挿入します。(正：写真③、誤：写真④参照)

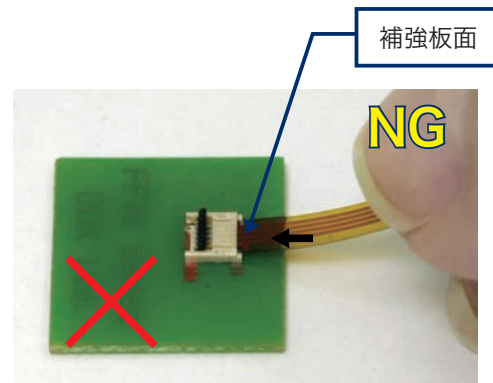
FPC をコネクタに対して真っすぐに挿入して下さい。

FPC 仮保持機構を採用している為、挿入に若干の力が必要です。

FPC がしっかり奥まで挿入出来ているか、確認してください。



写真③



写真④

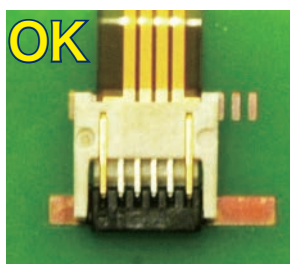
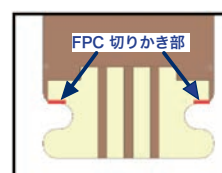
3. FPC 確認方法

ハウジング上壁直線と、FPC 切りかき部を比較する事により、

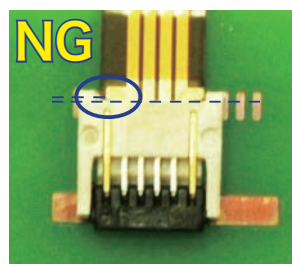
浅挿入、斜め挿入を、確認、防止する事が出来ます。(写真⑤、写真⑥、写真⑦参照)

ハウジング上壁直線から、FPC 切りかき部が突出している場合は、

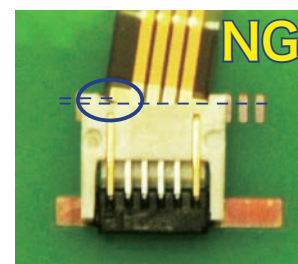
浅挿入、斜め挿入の可能性があります。再度 FPC を奥まで挿入してください。



写真⑤：正常挿入状態



写真⑥：浅挿入状態



写真⑦：斜め挿入状態

©このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>

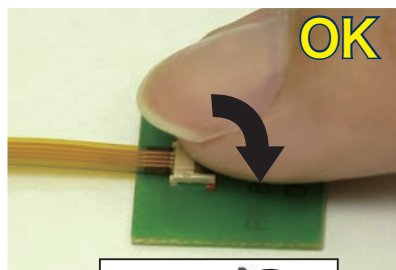
▶ コネクタ操作方法と注意点

4. ロック方法

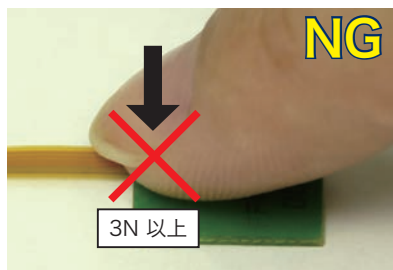
回転させる要領で、ロックレバーを押し下げます。(写真⑧)

その際に、ハウジングに無理な力 (3N 以上) をかけないように注意して下さい。(写真⑨)

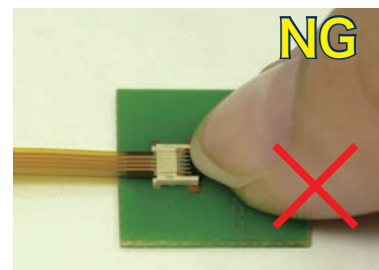
爪の先端でロックしないでください。ロック破損の原因となります。(写真⑩)



写真⑧



写真⑨



写真⑩

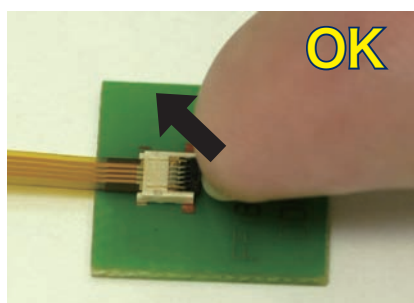
5. FPC 抜去方法

ロックレバーを矢印方向に軽く跳ね上げる要領で、押し上げます。(写真⑪)

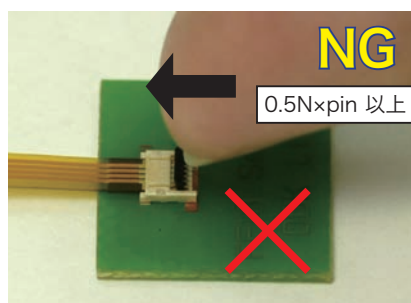
その際に、必要以上の力 (0.5N×pin 以上) をロックレバーにかけないように注意して下さい。(写真⑫)

ロックレバーを操作する際、指先や爪等をコネクタアーム部に引っ掛けないよう注意して下さい。

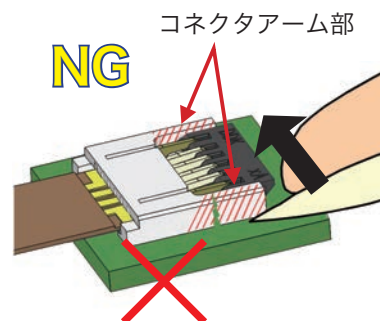
コネクタアーム部破損の原因となります。(図④)



写真⑪



写真⑫



図④

6. ESD(静電耐電圧)

本コネクタは、ESD 対策をしておりませんので、取扱時には注意して下さい。

7. コネクタ廃却方法

産業廃棄物として処理して下さい。

◎このカタログの仕様等は、改良等で予告なく変更することがありますので、ご了承願います。

また、掲載している製品の特性、及び仕様は参考値です。製品を使用する際は、最新の納入仕様書で内容のご確認をお願い致します。

<https://www.connector.fujikura.com>